

三菱電機 **産業用** ロボット

# MELFAテクニカルニュース

BFP-A6079-0258

2020年3月発行

**表題** RT ToolBox3 Ver. 1.62Q リリースのご連絡

**適用機種** FRシリーズ、Fシリーズ、SQシリーズ、SDシリーズ、Sシリーズ  
 (コントローラ CR800/CR750/CR700/CR500シリーズ用)

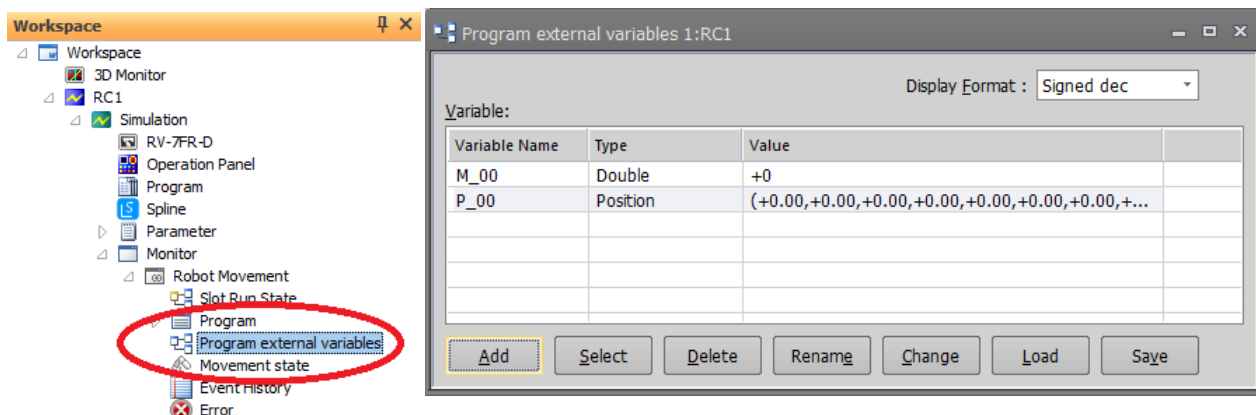
三菱電機産業用ロボットMELFAに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
 「RT ToolBox3 Ver. 1.62Q」(形名:3F-14C-WINJ(E)/3F-15C-WINJ(E)/3F-16D-WINJ(E))をリリースしました。以下に本バージョンで改定された内容についてお知らせします。

テクニカルニュースに記載された機能をご利用するには、FAサイトより最新版をダウンロードしてお手持ちのRT ToolBox3をバージョンアップする必要があります。

## 1. 機能追加

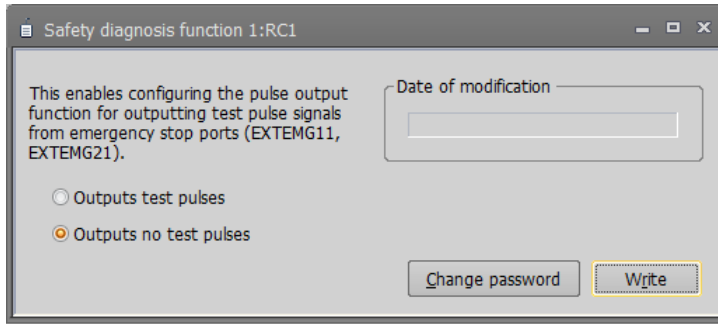
### ●プログラムモニタと別に、プログラム外部変数モニタを追加

複数のロボットプログラム間で共通して使用されるプログラム外部変数のモニタ画面をプログラムモニタとは別に設けて、プログラムの確認作業をやすくしました。



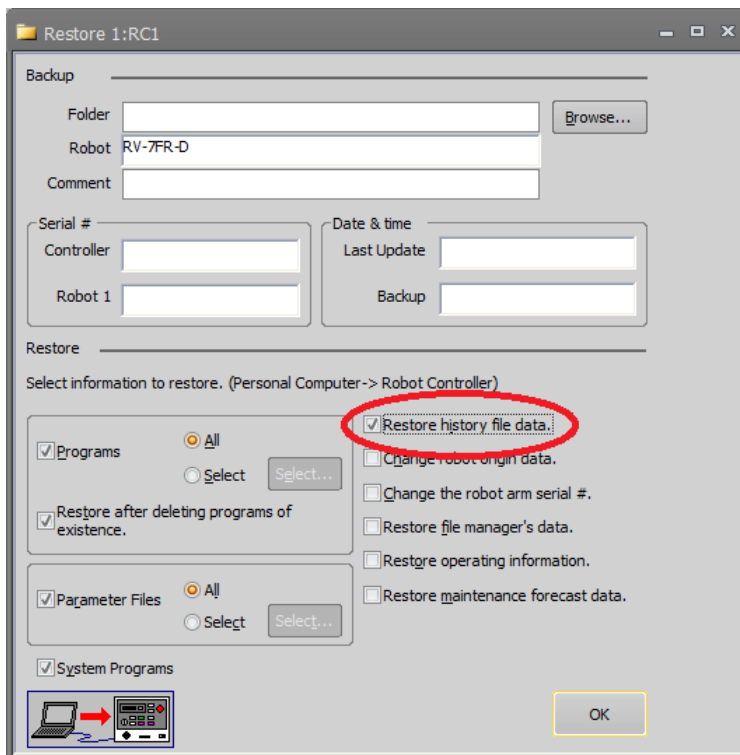
●安全パラメータ編集機能に、安全診断機能画面を追加

安全診断機能をONするための画面を追加しました。

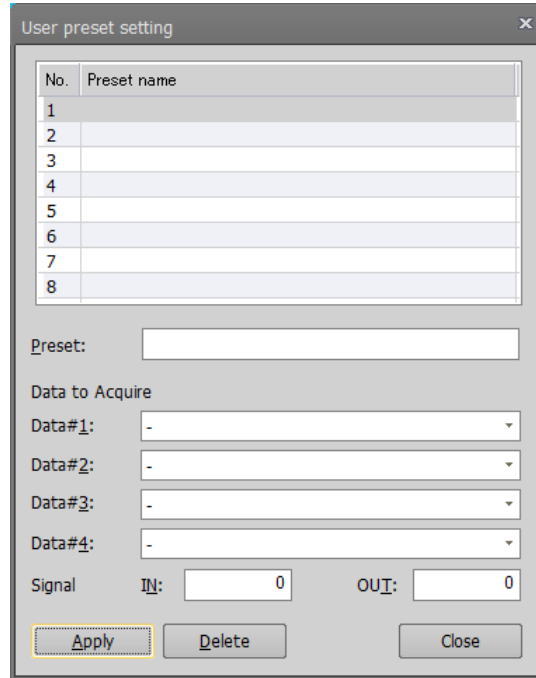


●リストア機能で、履歴ファイルのリストア実行選択項目を追加

一括リストア時に、リストア先の各履歴を上書きしないようにするため、履歴ファイルをリストアするかどうかを変更できるようにしました。



- オシログラフ機能のリアルタイムモニタの要求データ選択で、プリセット設定機能追加  
ロボットコントローラに要求するデータをユーザで自由に設定できるようにしました。



The 'User preset setting' dialog box contains a table with 8 rows for preset names, a 'Preset' text field, and four 'Data to Acquire' dropdown menus. It also includes 'Signal IN' and 'Signal OUT' input fields with the value '0', and 'Apply', 'Delete', and 'Close' buttons.

No.	Preset name
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

Preset:

Data to Acquire

Data#1:

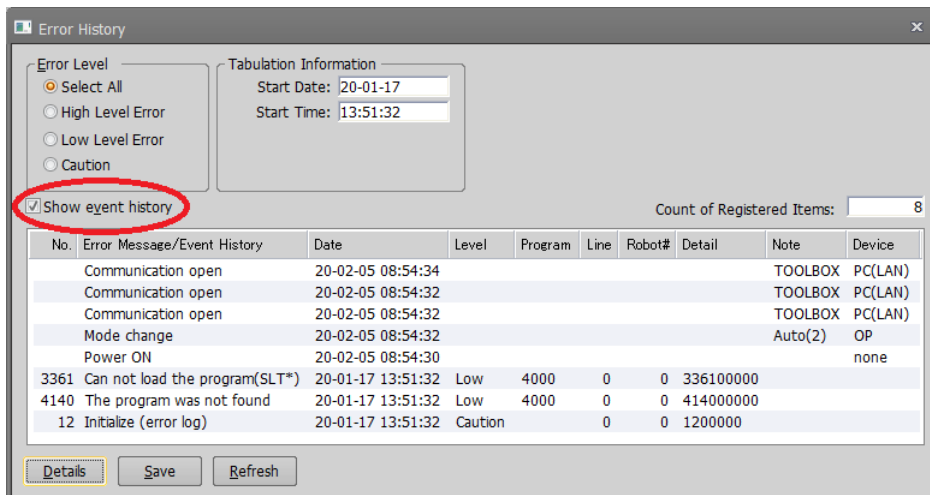
Data#2:

Data#3:

Data#4:

Signal IN:  OUT:

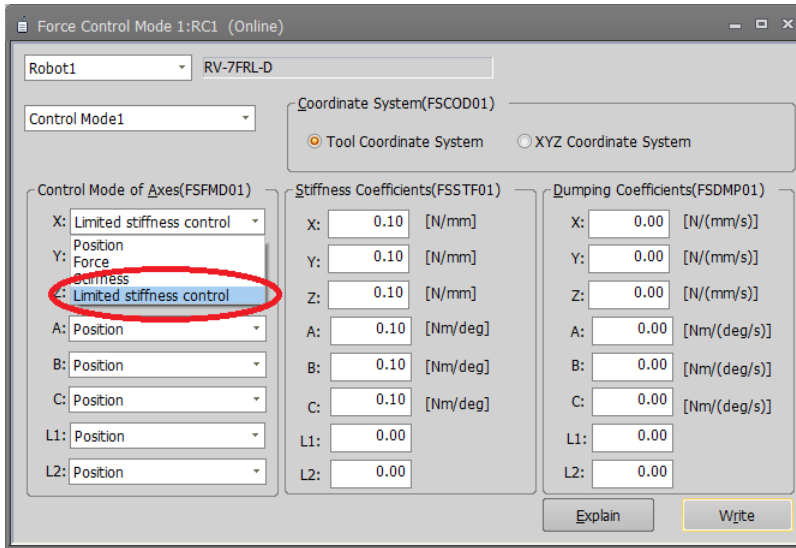
- エラー履歴画面で、エラーとイベントの履歴を同時表示  
両方の情報を同時に表示することで、問題発生時の復旧時間を短縮できます。



The 'Error History' dialog box features an 'Error Level' section with radio buttons for 'Select All', 'High Level Error', 'Low Level Error', and 'Caution'. A 'Show event history' checkbox is checked and circled in red. The 'Tabulation Information' section includes 'Start Date' (20-01-17) and 'Start Time' (13:51:32). A 'Count of Registered Items' field shows '8'. Below is a table of error and event history.

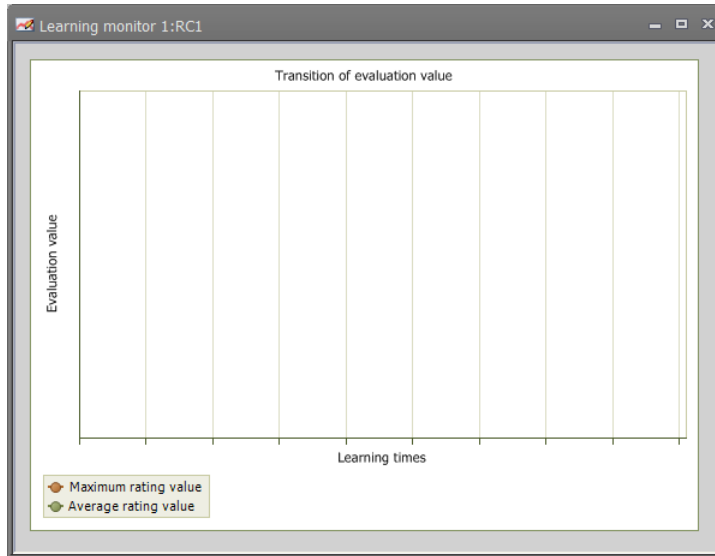
No.	Error Message/Event History	Date	Level	Program	Line	Robot#	Detail	Note	Device
	Communication open	20-02-05 08:54:34						TOOLBOX	PC(LAN)
	Communication open	20-02-05 08:54:32						TOOLBOX	PC(LAN)
	Communication open	20-02-05 08:54:32						TOOLBOX	PC(LAN)
	Mode change	20-02-05 08:54:32						Auto(2)	OP
	Power ON	20-02-05 08:54:30							none
3361	Can not load the program(SLT*)	20-01-17 13:51:32	Low	4000	0	0	336100000		
4140	The program was not found	20-01-17 13:51:32	Low	4000	0	0	414000000		
12	Initialize (error log)	20-01-17 13:51:32	Caution		0	0	1200000		

●力覚制御パラメータ画面で、制御モードに[リミット付きステイフネス制御]を追加



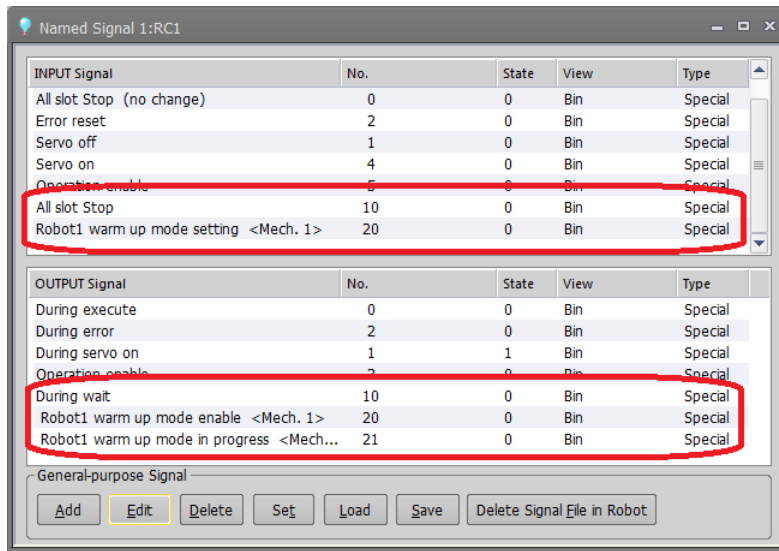
●力覚拡張機能の力覚学習モニタを、スカラロボットでも表示

スカラロボットで力覚のカスタム機能を使用する際に、力覚学習モニタを使用できるようになりました。



●名前付き信号画面に、[STOP2]と暖機運転関連パラメータを追加

[STOP2]、[M1～3WUPENA]、[M1～3WUPMD]で設定する入出力信号の表示に対応しました。



●新型のCR800-QロボットCPUユニット(Q172DSRCPU)のバージョンアップが可能になりました

今後Q172DSRCPUユニットのファームウェアのバージョンアップをする際は、当バージョン以降のRT ToolBox3をご使用ください。

## 2. 仕様変更

- CRnQ\_R通信詳細設定画面で、GOTトランスペアレントに[直結]モードを追加

